

平成20年度 決算報告書

国立大学法人 宮城教育大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,874	2,881	7	(注1)
施設整備費補助金	520	540	20	(注2)
補助金等収入	20	19	1	(注3)
国立学校財務・経営センター施設費交付金	22	22	-	
自己収入	1,019	1,049	30	
授業料、入学料及び検定料収入	1,000	1,033	33	(注4)
雑収入	19	16	3	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	58	83	25	(注6)
目的積立金取崩	137	60	77	(注7)
計	4,650	4,654	4	
支出				
業務費	2,975	2,972	3	
教育研究経費	2,975	2,972	3	(注8)
一般管理費	1,055	968	87	(注9)
施設整備費	542	562	20	(注10)
補助金等	20	19	1	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	58	82	24	(注12)
計	4,650	4,603	47	
収入 - 支出	0	51	51	

予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金収入については、予算段階で予定していなかった退職者にかかる退職手当を計上したことから、予算金額に比して決算金額が7百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備補助金収入については、平成20年度施設整備補助金による交付額が増加したことから、予算金額に比して決算金額が20百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、当初の見込よりも交付決定額が少なかったことから、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっています。
- (注4) 授業料及び入学金及び検定料収入については、当初の見込よりも学生数が増加したことから、予算金額に比して決算金額が33百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主に入試センター試験実施経費収入が当初見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託事業等の受け入れに努めたため、予算金額に比して決算金額が25百万円多額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた目的積立金の取崩しよりも少額だったため、予算金額に比して決算金額が77百万円少額となっております。
- (注8) 教育研究経費については、主に教員人件費の支給額が見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっています。
- (注9) 一般管理費については、主に職員人件費の支給額が見込よりも少なかったことから、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっています。
- (注10) 注2に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が20百万円多額となっています。
- (注11) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっています。
- (注12) 注6に示した理由により、予算金額に比して決算金額が24百万円多額となっています。